

柳原 極堂(やなぎはら きょくどう)

資 料

短冊『満山の ともしに暮るる 桜かな 極堂』

作 者

1867(慶応3). 2. 11－1957(昭和32). 10. 7

伊予国(愛媛県)温泉郡北京町生まれ。

正岡子規と松山中学で知り合い、明治28年、療養中の子規に俳句の指導を受ける。明治30年、子規と共に月刊俳誌「ほととぎす」を創刊するが、後に高浜虚子に譲る。松山で新聞発行や市会議員を務める。

参考文献

『子規の文友柳原極堂の生涯』(二神将／著 松山子規会
(子規会叢書 第25集) 1997. 2

[県立 911. 36GG/702(21069158)]

『子規選集(12)子規の思い出』(栗津則雄／ほか編 増
進会出版社 2002. 11

[県立 918. 68LL/155/12(21580741)]

